



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立 **鶴岡ロータリークラブ**

平成24年9月11日(火)
第2600回 例会
(本年度第9回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡 例会日 毎週火曜日
(鶴岡市錦町 2-10) (12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> メール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(9/18)のメインプログラム

新入会員スピーチ
村上真彌君

次週(9/25)のメインプログラム

ゲストスピーチ
インターラクト 顧問教師

会長挨拶

阿部純次君

9/9(日)に鶴岡田川地区小中高校児童生徒考案創作展の表彰式に出席してまいりました。

308点出展された中、鶴岡ロータリー会長賞は、作品名「一日計画表」の大山小学校・3年生の秋野 颯(はやて)君に、賞状と盾を贈呈してまいりました。シンプルで操作もしやすく、非常にわかりやすい一日の予定計画表となっていましたので、樋渡美智子審査委員と協議のうえ決定させていただきました。

9/6(木)に平成24年度田川地区中高英語弁論大会が開催され、富田喜美子・クラブ奉仕プロジェクト理事より出席していただきました。

富田さんごくろうさまでした。

幹事報告

西川 富美子 君

鶴岡RAC

○鶴岡ロータリークラブ創立40周年

記念式典のご案内

日 時:11月3日(土)

会 場:東京第一ホテル鶴岡 2F 鶴の間

登録開始:13:00 記念式典:14:00

祝賀会:17:00 締切9/20

ガバナー事務所

○ロータリー団体同好会

日 時:10月20日(土)

会 場:日本棋院会館(東京)

登録料:7,000円

○山添高校1年生職場体験学習の

受入について(協力依頼)

実施期間:11月6日~8日

地区セミナー報告②

国際奉仕委員会

青少年交換研修セミナー

阿部純次君

8月4日(土)、山形グランドホテルで開催。青少年交換プログラムの目的は、多くの若者に他国の人々に会ってもらい、その文化を経験し、生涯にわたる国際理解の種を植える機会を提供することです。

目標は世界的視野を広め、理解も深めて帰国すること。そしてその交換学生としての経験を活かして地域等に帰り、リーダーとしての役割を果たすことです。

ホストクラブとファミリー及びその地域社会も異文化交流ができるということでした。プログラムの種類は3つで、長期交換、短期交換、新世代交換があります。新世代交換は18歳から25歳までの若者を対象に1ヵ月から3ヵ月程度の短期交換を行います。内容は大学での研修や職場体験などが挙げられます。

今年の第二ブロック合同派遣学生は中央高校の石塚真奈さんです。8月19日にアメリカのオレゴンに出発しています。受入学生はアメリカのジョアンナ・ライアンさんが8月29日に来日しました。

クラブ管理セミナー・R財団セミナー

西川富美子君

○クラブ管理運営セミナー

6月30日、南陽ハイジアパークで開催。当日はカウンセラー細谷Pガバナーが五大奉仕の中で最初にクラブ運営を掲げたということに意味があり、奉仕活動の中でも最も重要というご挨拶がありました。

次に和田ガバナーより活動方針のお話があり、その後各委員長さんから活動報告がありました。ロータリー

出席報告

会員数	41名
出席	27名
出席率	69.23%
前々回確定出席率	74.35%

■ R I 会長 田中作次

■ 地区ガバナー 和田 廣

■ 会長／阿部純次 ■ 副会長／丸山隆志 ■ 幹事／西川富美子 ■ 会長エレクト／嶺岸禮三
■ 会報委員会／橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

情報・研修・プログラム小委員会では情報セミナーを二回開催する、親睦・家族・レディース小委員会では、女性会員の増強に励むということでした。

○R財団セミナー

7月29日(日)山形パレスグランデールで第2回目のセミナーが、塚原PGを研修リーダーとして行われました。

池田財団委員長よりゾーン会議の報告があり、講演は「未来の夢計画への取り組み～パイロット地区の事例～」と題し、第2770地区のロータリー財団委員長、岩淵均氏より同地区で作成された未来の夢計画のハンドブックを元に、質疑応答式で進められました。

◎なぜ、未来の夢計画なのか。

・広範囲に亘る事業内容、規模事業の過剰な案件数を絞るため

◎目的

- ・財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化する
- ・ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること
- ・世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供すること
- ・意思決定権を更に地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること
- ・ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること

○グローバル補助金と新地区補助金及び事業内容

	新地区補助金	グローバル補助金
1. プロジェクト	教育的P、人道的P	6つの重点分野
2. 獎学金	文学、芸術など分野は問わず	6つの重点分野
3. VTT	分野を問わず	6つの重点目標

他資金の流れなど分かり易いハンドブックですが、内容は簡単なものではなく、近日講話予定の池田財団委員長及び嶺岸委員からは時間を割いていただき詳しい説明を受けていただければと思います。

職業奉仕セミナー

佐藤友行君

地区の第一ブロック、第二ブロックの職業奉仕セミナーに当クラブより阿部純次会長と私佐藤友行、それから藤川パストが出席しました。セミナーは鈴木一作地区職業奉仕委員長の基調スピーチから始まりました。その骨子は、職業奉仕は事業及び専門職務の長い経験、多くの実績を踏まえたその人材の道徳的な水準をより高めながら品位ある業務を遂行し、それは全て尊重されるべきであるという認識を深めながらあらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を活かしてゆく目的を持つということでございました。

また酒田クラブの地区職業奉仕委員の吉田雅樹君は職業人にとって仕事で得た利益の一部は、ロータリーの理念に従って社会奉仕、国際奉仕に活用され、職

業人は倫理観を高めながらその利益を追求すべきであるとしました。又その利益の社会還元は、お金のかからないボランティアへの奉仕と共にロータリーの大切な社会奉仕であり、その意義をロータリアンは深く心に刻み、より崇高なノブレス・オブリージュ(位高ければ徳高きを要す)を実践すべきであるということでした。

最後に和田ガバナーの講評は、職業とは顧客には真心と真摯な姿勢でそのビジネスに臨めばそこからは必ずや利益として還元されてくるものである。倫理観の欠如による見せかけや正直な職業人の多い中でもロータリアンは決して目立たなくとも隠匿、いわゆる庄内では沈潜の風とも言いますが、これを実践すべきであると、それが職業奉仕にも通じロータリアンは社会の範となるべきであると訴えておりました。和田ガバナーは塚原パストガバナー年度に地区の職業奉仕委員長として活躍をされておりましたので職業奉仕には思い入れが深く実践的な職業観を反映した講評でした。

新世代奉仕セミナー

本間喜美子君

7/21、ハイジアパーク南陽で地区委員、クラブから100名ほどの出席がありました。和田ガバナーには青少年育成に特別の思いがあり、継続的な支援が大切だというお話をありました。その後IAC、RACの事業・事例報告がありました。RACは南陽東の佐藤地区代表から報告がありました。2800地区には南陽東(12名)、酒田(8名)、鶴岡(17名)、山形(5名)、米沢(8名)、東北文教(12名)の6つのRACがあります。山形は休会中ですがG事務所がバックアップするから活動を続けてほしいと働きかけています。来年は鶴岡RACから地区代表が選出され年次大会を開催することになっています。

IACは、九里学園、山本学園から報告がありました。地区内には7クラブ839名の会員がいます。当クラブがスポンサーをしている鶴岡東高校とのコミュニケーションを図るため小原先生に例会に来てもらったり、藤川PGから生徒さんに講演をしてもらったりする計画です。ライラは本年度第3ブロックの担当で開催されます。詳しくは4月の月信を是非ご覧ください。

委員会報告

◆出席委員会

◎ビジター

後藤正君（鶴岡南RC）

◎メイクされた方

西川富美子君・塚原初男君



スマイル

阿部純次君 セミナーに参加された方、セミナー報告された方、お忙しい中ご苦労様でした。